

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立鯨江小学校

児童数

136

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.80	18.82	33.81	35.46	45.95	9.54	138.13	17.87	49.27
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	16.64	17.35	37.07	34.80	37.54	10.02	129.73	12.22	51.10
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

男子：体力合計点について、全国平均を3.01ポイント下回った。「握力」「20mシャトルラン」は、全国平均を上回った。それ以外の種目については、全国平均を下回っている。特に「反復横とび」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」が大きく下回っている。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、15.0%で全国平均よりも5.7ポイント高い結果となった。

女子：体力合計点について、全国平均を3.21ポイント下回った。「握力」「20mシャトルラン」は、全国平均を上回った。それ以外の種目については、全国平均を下回っている。特に「反復横とび」「立ち幅とび」が大きく下回っている。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、7.3%で全国平均よりも7.3ポイント低い結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「運動やスポーツをすることは好きですか」のアンケート結果から、男女とも運動に対する肯定的な回答は、全国平均と比較して下回った。男子では5.6ポイント、女子では、5.8ポイント低い結果となっている。

休み時間など、教員が子どもと一緒にサッカーや鬼ごっこなど、一緒に遊ぶことにより、子どもたちの体を動かす機会の増加、基礎体力の増進へつながってきている。また男女共に、学校以外で運動している子どもは全国平均を上回っている。一方で、運動が苦しいと回答する子どもが一定数存在し、特に女子については、その割合が高かった。体力向上の意欲を図るために水泳指導に力を注いだり、なわとび週間を設けたりした。様々な制約が緩和されつつあるが、運動時間の確保は、十分ではなかった。

今後は、まず普段の体育の授業において、達成感や充実感が得られるよう取り組みを工夫し、スポーツに対する興味・関心を高めていく必要がある。また、体育科指導の実技研修会を充実させていくなど、体育科指導の在り方を見直し、改善へとつなげていきたい。